

380万年前の猿人の顔が復元されたそうです

NBS
119

エチオピアで、**380万年前**のアウストラロピテクス・アナメンシス（アナメンシス猿人）の頭蓋骨がほぼ完全な形で見つかり、顔が復元されました。

ネイチャー電子版に発表されたものです



あっ！ 裏の山田さん！

いえ！ 違います！

科学誌ネイチャーに掲載された研究によりますと、頭蓋骨は2016年にエチオピアの首都アディスアベバの北東約550kmの地点で発見され、成人男性のものだそうです。これまでの研究では、アナメンシス猿人の身長は約150センチに達していたとされていますが、今回は推定身長は示されなかったそうです。アナメンシス猿人は、「ルーシー」のニックネームで知られるアウストラロピテクス・アファレンシス（アファール猿人）の直接の祖先と考えられているそうです。ルーシーは約320万年前に生存していたとされ、化石人骨が1974年にエチオピアで発見されています。

あっ！ 田中先輩！

だからぁ！ 違いますって！

こんな顔をしていたんですね！380万年といわれてもピンときませんが、とにかくとんでもない大昔にこんな顔をした私達の祖先が素っ裸で野原を走り回っていたのだと思うと・・・この人達（といえるのかどうかわかりませんが）のおかげで今の私達が存在すると思うと・・・なんだか奇妙な感動を覚えます。

今から300万年後、地球がまだ存在していたら、私達の今の顔面はどのような評価をうけるのでしょうか？

あなたの顔面の評価は？！？！

うっふ！ どひゃ！



西日本防災システム

NISHINOHON BOHSAI SYSTEM Co., Ltd

<http://www.nbs119.co.jp/>



弊社Top Pageへ →